



園だより

第1号
平成31年4月9日
駿河台大学第一幼稚園
園長 田所 恒子

健やかな成長に向けて

暖かな日差しの中、園庭の花壇に花が咲き乱れ、待ちに待った春となりました。保護者の皆様、お子様のご進級・ご入園おめでとうございます。

開園より43年目を迎える平成31年・令和元年度が、年少組65名、年中組70名、年長組56名、計191名のお子様と共にスタートいたします。本園の教育理念「愛情教育」を基盤に、教育目標に掲げた「心もからだもじょうぶな子」「くふうしてよく考える子」「思いやりのあるやさしい子」の育成に向けて、教職員が一丸となって取り組んでまいります。お子様たちが、遊びや生活を通して生涯にわたる人格形成の基礎を培えるよう、質の高い教育を推進しながら下記の各学年の重点目標に向かい指導を進めてまいります。

<学年の重点目標>

(年少児) 園生活に慣れ、教師や友達とかかわりながら遊ぶことを楽しむ。

(年中児) 園生活の中で自分の思いを伝えたり相手の思いに気づいたりしながら友達とかかわって遊ぶことを楽しむ。

(年長児) 友達と共通の目的に向かって考えたり工夫したりしながら遊びを進める楽しさを味わう。

さて、進級時や入園時は、お子様の成長の節となる重要な時です。進級し、憧れていた(クラスの)色の新しい名札を担当から付けてもらったり新しい遊具を使えるようになっていたりする中で、大きくなったことを実感し喜びを感じていきます。自分よりも小さい新入園児の姿に自分が大きくなったことを感じたり、お世話しようとする気持ちを抱いたりもします。年少児は、「おままごとをしたい」「すがだいランドで遊びたい」と新しい幼稚園という生活に胸をふくらませて登園してくることでしょう。

一方、新しい生活は不安もととても多いものです。年少児は、頭では理解していたつもりでも、実際に保護者と離れてみるとこんなはずではなかったと不安になり寂しくなってしまうこともあるでしょう。幼稚園生活を経験してきた年中児・年長児も新しい担任や友達など人間関係の変化は、不安が大きいものです。

お子様たちが安心して幼稚園生活を過ごし、一人ひとりが大きくなったことを感じられるように、本園は様々な工夫をしています。お子様の不安を取り除くために、年中組・年長組のクラス分けを始業式の前に「コドモン」でお知らせしたこともその一つです。安心・安定して幼稚園生活を過ごす中で、お子様なりに頑張り、新しい世界へと壁を乗り越えることが、様々なことにチャレンジしようとする力や我慢する力、自信となり、お子様の健やかな成長につながります。

そして、お子様の不安を取り除くためには、保護者の皆様のご協力がとても大切になります。幼稚園生活を安心して過ごし健やかな成長を育むために、保護者の皆様と幼稚園が、情報交換を積み重ね共にお子様を育てていく関係を大切にしていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



園庭に桜吹雪が舞っています。まるでお子様方のご進級・ご入園を祝っているかのようです。



年少児の時に植えたイチゴに白い花が咲き始めました。赤いイチゴになるのはいつでしょうか？



年中児の時に植えたジャガイモの種芋から芽が出たのは三学期の終業式の前日でした。それがこんなに大きくなって新年長児を迎えてくれました



幼稚園の門が新しくなりました。お子様たちの幼稚園生活の安全性がより高まります。